

## STAGE+を楽しむ(345)(HP 収載)

—ブルース・リウのラフマニノフ—

### 1. 始めに

前報(344)に引き続き、STAGE+のブルース・リウのラフマニノフの演奏の試聴を実施します。

### 2. 試聴音源

今回は、前報(344)に引き続きブルース・リウのラフマニノフの演奏を選びました。

ブルース・リウがラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を演奏

ラインガウ音楽祭 2023

収録日: 2023 年 7 月 15 日

2021 年のショパン国際ピアノコンクールの覇者、ブルース・リウ。近年はレパートリーを拡大し、さらにその音楽性を深めています。本映像は、ジャンンドレア・ノセダとサンタ・チェチャーリア国立アカデミー管弦楽団とともにラインガウ音楽祭に出演した際の演奏を収録。リウは今回ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番のソリストを務め、ノセダはローマを拠点とするオーケストラの色彩豊かな音色の魅力を最大限に発揮すべくレスピーギの初期の傑作《ブルレスカ》とリムスキー＝コルサコフの《シェヘラザード》を選曲し、華麗な音楽を紡ぎ出しています。

ソリスト:

ブルース・リウ (ピアノ)

演奏:

サンタ・チェチャーリア国立アカデミー管弦楽団

指揮:

ジャンンドレア・ノセダ

曲目:

オットリーノ・レスピーギ 《ブルレスカ》

セルゲイ・ラフマニノフ ピアノ協奏曲第2番ハ短調 op. 18

ブルース・リウ(ピアノ)

ヨハン・セバスティアン・バッハ

前奏曲変ロ短調 (平均律クラヴィーア曲集第1巻より)BWV 855a

(A・ジロティによる編曲版)

ブルース・リウ(ピアノ)

フレデリック・ショパン 練習曲変ト長調 op. 10-5 《黒鍵》

ブルース・リウ(ピアノ)

ニコライ・リムスキー=コルサコフ 《シェヘラザード》 op. 35

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー

《くるみ割り人形》 op. 71 第2幕より 〈ロシアの踊り〉



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力 of 修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力 is ABS-7777 を適用しています。

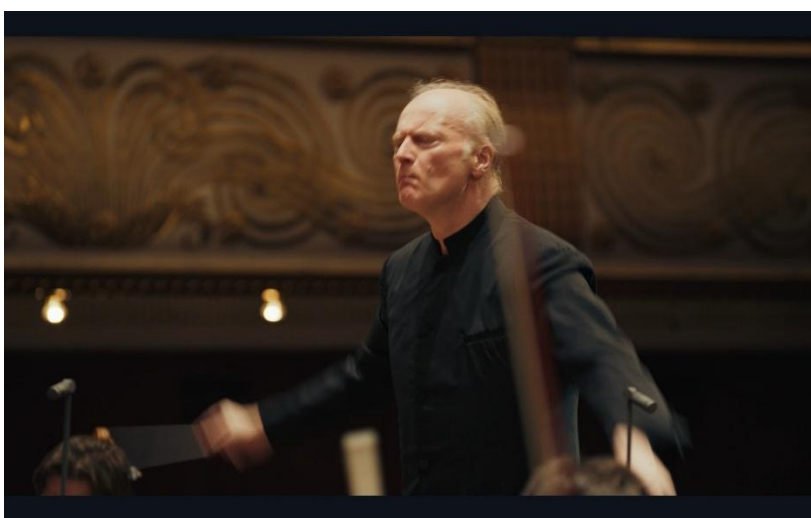
レスピーギの《ブルレスケ》は、初めて聴く曲で色彩感あふれる表情です。

ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番は、メランコリックなロマンチシズムの表情ブルース・リウが、じっくりとがっちりとした構成で演奏していました。

バッハの前奏曲変ロ短調とショパンの練習曲変ト長調《黒鍵》は、アンコール曲で、ブルース・リウのピアノが、前者はしつとりと、後者はきらきらと輝くように聴かせてくれました。

リムスキー=コルサコフの《シェヘラザード》は、コンサートマスターの艶やかなソロヴァイオリン、ハーブの豊かな響き、フルートやクラリネットの柔らかな音色などを散りばめ、穏やかなノセダ指揮の下、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団のシルキータッチの演奏です。

チャイコフスキーの《くるみ割り人形》より〈ロシアの踊り〉は、アンコール曲で、お馴染みの短い曲です。



#### 4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力 of Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、ブルース・リウのラフマニノフのメランコリックなロマンチズムやそれぞれのアンコー

ル曲の表情、シェヘラザードの艶やかなソロヴァイオリン、ハープの豊かな響き、フルートやクラリネットの柔らかな音色などのシルキータッチの演奏が聴けました。

以上